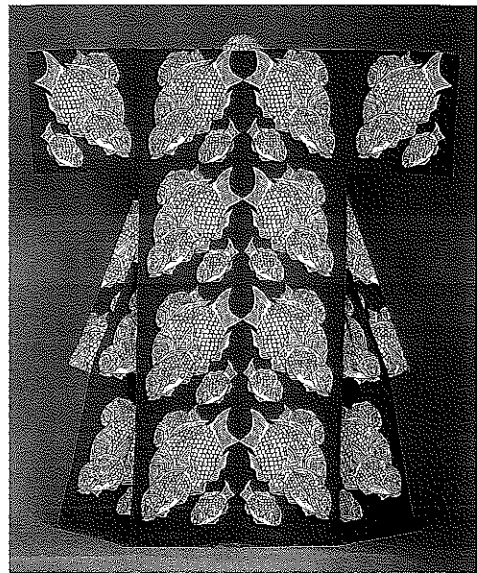


▼特別展 「平成13年度国立博物館・美術館巡回展 かざりとかたち」

会期：平成13年11月13日（火）～12月9日（日）
 会場：歴史展示室・企画展示室・美術工芸室
 主催：沖縄県立博物館、独立行政法人国立博物館…京都国立博物館・東京国立博物館・奈良国立博物館、独立行政法人国立美術館…京都国立近代美術館・東京国立近代美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館



芹沢銈介「鯛泳ぐ」

この巡回展は、優れた美術品鑑賞の機会を提供することを目的に、タイトルの示すとおり独立行政法人国立博物館・国立美術館の所蔵品を全国各地で広く公開するものです。今年度は、沖縄県立博物館と鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催し、国立館と共同作業で展覧会を行うことになりました。

今回の展示は「かざりとかたち」です。弥生から現代まで、各時代の生活の中ではなくまれた「装飾＝かざり」と装飾の「かたち」は、“かざりの美”“かざりのかたち”“南海のかたち”の三つのテーマに分かれます。どんな内容なのか、そっと中味を覗いてみませんか。

「さまざまな時代に生み出され、《生活》《身体》《空間》《祈り》という四つのステージをかざった品々。これらの中に身をおいてみたら…、そしてこれらを手にしてかざってみたら…と、空想してみてください。そのこともまた、美の創造なのですから。」

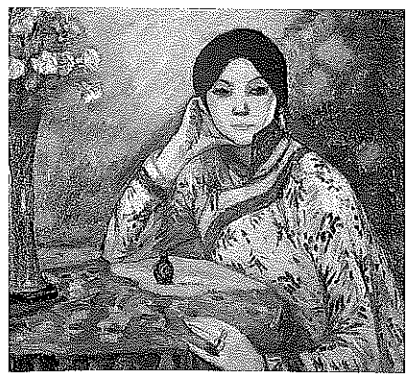
「美術における《かざり》は、はっきりと意味をもち、目的を持ち、自己主張をしています。かざりにはまた、人の知覚や心理までを計算しつくした、ある種の合理性をみることができます。ただ、その場を賑やかしくするだけではない、かざりの世界だけの美しさ、奥深さを堪能してください。」

「南海のかたち」という展示の場で、ひとことでは語り尽くせない歴史経過をたどった鹿児島と沖縄の《かざり》の品々が再びめぐり逢う。そこからまた新しい歴史が始まるのではないかとの予感…」

「南海のかたち」というテーマは、国立館所蔵品の「里帰り」を意味するだけでなく、開催館の鹿児島県歴史資料センター黎明館と当館からも関わりの深い品を出品し、国立館との共同作業で展示を行うという、これまでの巡回展にはなかった試みから誕生したものです。

また、この展覧会には、国宝3件、重要文化財14件、重要美術品2件、沖縄・鹿児島両県の指定有形文化財6件を含む、164件、198点が展示されます。出品は京都国立博物館、東京国立博物館、奈良国立博物館、京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、那覇市歴史資料室、当館の8館になります。

なお、この展覧会開催中、下記のとおり講演会を行います。併せてお楽しみ下さい。



藤島武二「匂い」

講演会－1
 日時：平成13年11月25日（日）午後2：00～4：00
 講師：久保智康（京都国立博物館工芸室長）
 演題：「琉球の金属工芸制作をめぐって」

講演会－2
 日時：平成13年12月1日（土）午後2：00～4：00
 講師：原口泉（鹿児島大学教授）
 演題：「琉球使節のメッセージ ー扁額と装束ー」



▼企画展「平成12年度新収蔵品展」

『新収蔵品展』は、前年の4月から本年3月までの1年間に博物館へ寄贈された資料や購入、収集した資料を公開するものです。平成13年度は、6月5日から7月1日の期間で開催しました。

平成12年度には、3,363点の資料が収蔵されました。その大半は、本部の海洋博覧会記念公園内にあった沖縄館の資料です。沖縄館は、昭和50年に開館しましたが、平成10年に建物が老朽化したことで閉館し、沖縄文化の啓蒙普及の役目を終えました。しかし、沖縄館の資料は、当館において、引き続き活用されていきます。

当館は、毎年多くの方々から貴重な資料を寄贈していただいています。今回も新城和治・立石庸一氏から琉球の植物標本、平山敏治郎氏から戦前の沖縄を撮った写真類、西林昭一氏から徐葆光の書、大城廣四郎氏から緋の着物、宮城久氏から井戸車、岡本恵昭氏から護符などがありました。ここで紹介したのはほんの一部です。くわしくは「平成12年度新収蔵品展」の小冊子に掲載しました。

新しく収蔵された資料は、受入の手続きをすませ、寸法を測り、写真を撮ります。いろいろな事柄（情報）を書き込んだカードが作成され、収蔵庫に保管されます。その後、博物館資料として展示や調査研究等に活用されていきます。



▼沖縄県立博物館体験学習教室

平成5年度からスタートした体験学習教室も今年で9年目を迎えることになりました。スタートから昨年度までは親子参加を対象とした「子ども体験学習教室」の名称でしたが、一般からの受講要望が多く、今年度から「博物館体験学習教室」に名称替えをして小学生から一般大人まで参加対象を拡大し講座を開講することになりました。今年は、「豆を栽培して豆腐をつくろう」、「サトウキビを栽培して黒砂糖をつくろう」、「指導者養成（教育関係者対象）のための豆腐づくり」、「しっくいシーサーをつくろう」、「ウチナーそばをつくろう」、「指導者養成（教育関係者対象）の黒砂糖づくり」の6講座を計画致しました。

「しっくいシーサーをつくろう」を紹介します。シーサー（獅子像）は、魔除けまたは守護神として用いる習俗があり、14世紀ごろ中国からもたらされたものと考えられています。「しっくいシーサーをつくろう」の講座は、受講希望者が多いことからパート1・2の2回を計画しました。パート1の8月11・12日では夏休みで子どもたちの参加が多く、89名が受講しました。パート2の10月13・14日では一般の参加者を中心に64名が受講しました。当日は、2つの講座とも参加申込者の他に家族・



夫婦・友達が応援で参加をし、和やかで楽しい雰囲気の中で講座が行われ、その目的を達成し終了することができました。講座の1日目は、しっくいと砂と白セメントを練り合わせる学習から始まり、何種類かの瓦を骨組みとして自分の好きなポーズのシーサーを完成させました。2日目は、シーサーへの絵付けと鑑賞会を行いました。しっくいシーサーづくりに胸を膨らませ、自作のしっくいシーサーに満足していた様子が印象的でした。

▼博物館シアター

県立博物館では、平成6年度より毎年博物館シアターを実施しています。今年度は6月に「映像で考える戦争と子供たち」というタイトルで、戦争と子供をテーマに制作された記録映画「戦争～子どもたちの遺言～」と「戦場ぬ童～いくさばぬわらび～」の2本を紹介しました。

また7月と8月の夏休み期間には、「ニルスの不思議な旅」シリーズの中から3本、「ジャングル大帝」シリーズの中から3本、「アニメ三銃士」シリーズの中から3本、三日間で合計9本の長篇アニメ映画を上映しました。上映会場には多くの親子連れが詰めかけ、アニメを楽しむ姿がみられました。2月24日には世界の人と馬の文化をテーマに3本の映画を上映する予定です。



▼ボランティア養成講座

平成13年度の博物館ボランティア養成講座が、平成13年6月6日から8月8日までの期間に8回にわたって行われました。本講座は、博物館の教育普及活動及び資料の整理・充実化をはかるためにボランティアを養成するもので、沖縄の歴史、文化、自然について学ぶと同時に展示解説、体験学習等の教育普及活動や資料の収集・整理についても理解を深めることを目的としています。

博物館の学芸員等が講師となって実施した講座の内容は、次のとおりです。



後期ボランティアに登録した皆さん

第1回 前田 真之「博物館における
ボランティアの役割」

第2回 宮城 勉「化石から人類の誕生まで」

第3回 津波古 聰「陶器及び漆工芸について」

第4回 高原 建二「自然の展示と資料の収集」

第5回 桃原 茂夫「民具について」

第6回 与那城義春「自然史展示の見方」

第7回 與那嶺一子「染織について」

第8回 園原 謙「戦後の文化財保護の歴史」

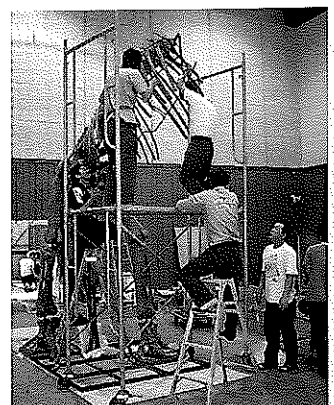
養成講座を修了した受講者の中から28名の登録希望者があり、8月29日（水）に平成13年度後期ボランティア登録証交付式が行われました。

登録ボランティアを代表して又吉栄一さんが、入会の決意のあいさつとフルートの演奏を行い、これからの活動に意欲を見せました。

▼第26回移動博物館 in 南大東村

沖縄県立博物館では、日頃博物館を訪れる機会の少ない地域の方々に、博物館活動の一端にふれていただくため「移動博物館」を昭和54年度から毎年実施してまいりました。平成13年度は、「第26回移動博物館」を南大東村で開催いたします。

開催期間は平成13年11月24日（土）、25日（日）の2日間で南大東村地域スポーツセンターを会場に実施いたします。展示会は、「大むかしの生物」「沖縄の自然、歴史、暮らし」の2つのコーナーで構成され、大型の恐竜骨格標本をはじめ、沖縄の自然・歴史・文化を総合的に把握できるように企画されており、約400点の資料展示を行います。また、会期中には小中学生や、一般の方々を対象にして、南大東島で見られる野鳥などの野外観察会も予定しています。



第25回の作業風景



▼ホームページアクセス状況

平成12年7月より開始した当館のホームページですが、今年の5月以降、アクセス数がどんどん増えて、現在は毎月のべ1000名の方に見て頂いています。平成13年10月には、アクセスカウンターが9000を越えました。

ホームページでは、行事案内や来館者の感想、学校の先生向けの案内、また博物館ボランティアの活動の様子が分かる「ボランティアニュース」や「博物館体験学習教室」の様子も写真で紹介しています。検索エンジンによっては、当館のページが検索されない場合もありますが、その場合は他のエンジンを試してみてください。また、次の当館のホームページアドレスを直接入力して、ご覧いただくこともできます。

沖縄県立博物館ホームページ <http://w1.nirai.ne.jp/oki-muse/>

▼これからの博物館行事のご案内

博物館文化講座…博物館講堂にて/午後2時～(※3月は野外講座)

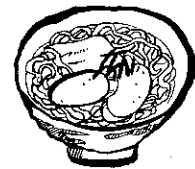
平成14年1月19日(土)	「琉球庭園の歴史」講師：古塚達朗(那覇市教育委員会生涯学習部文化財課主幹兼文化財係長)
平成14年2月23日(土)	「東アジアからみたグスク時代」講師：池田榮史(琉球大学教授)
平成14年3月16日(土)	「中部の遺跡めぐり」講師：新田重清(沖縄考古学会副会長)

博物館シアター…博物館講堂にて/午後2時～

平成14年2月24日(日)：世界の人と馬の文化
 「アンダルシアに生きる－馬と祭り－」(約47分)
 「大草原のまつりナーダム」(約47分)
 「バリオの祝祭－古都シェナに生きる馬の伝統－」(約47分)

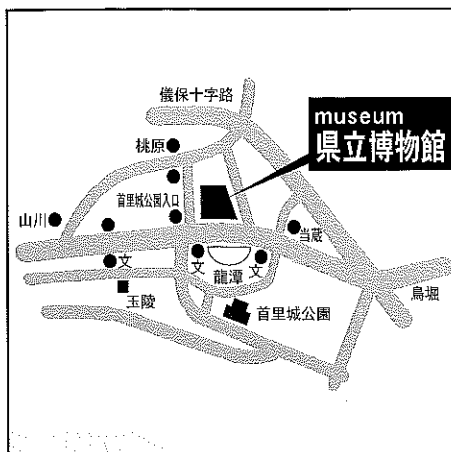
博物館体験学習教室

平成13年11月18日(日)：ウチナーそばをつくろう－1日目
 平成13年11月24日(土)：ウチナーそばをつくろう－2日目
 平成13年12月8日(土)：黒砂糖づくり
 平成14年2月9日(土)：指導者養成の黒砂糖づくり



【休館日のお知らせ】

- ・平成13年12月10日(月)～17日(月) 特別展「かざりとかたち」撤収作業のため
- ・平成13年12月28日(金)～平成14年1月4日(金) 年末年始
- ・平成14年1月21日(月)～2月4日(月) 空調工事のため



バスのご案内

- 那覇空港発
125番(知花首里線)「桃原」バス停下車、徒歩10分
13番(石嶺空港線)「当蔵」バス停下車、徒歩3分
- 市内バス
1番(首里識名線)・12番(末吉線)・14番(泊線)・17番(石嶺開南線)の「首里城公園入口」、または「当蔵」バス停下車、徒歩3分
9番(小緑石嶺線)の「桃原」バス停下車、徒歩10分
- 市外バス
97番(琉大線)「桃原」バス停下車、徒歩10分
46番(糸満西崎線)「首里城公園入口」、または「当蔵」バス停下車、徒歩3分

沖縄県立博物館だより No. 46

発行年月日：平成13年11月
 編集・発行：沖縄県立博物館
 住所：〒903-0823
 那覇市首里大中町1-1

TEL(098)884-2243
 FAX(098)886-4353
<http://w1.nirai.nc.jp/oki-muse/>